

# 連携支援センター

「縁」たより

湖西であんきに暮ら住まい



第23号  
2021年 10月

## <湖西市新型コロナワクチン接種について>

市内の接種対象者(12歳以上の方)への接種券発送は、すべて完了しています。今後12歳になられる方につきましては、月ごとに順次発送予定です。



## 医療・介護連携における課題

……情報共有に着目して……

超高齢化社会の到来を前に高齢者が重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で生活を継続できることを目標に、地域包括ケアシステムの構築が進められています。

地域包括ケアシステムでは、要介護の高齢者が地域での生活を安心して持続させるために、医療や介護をはじめとした生活に必要なさまざまなサービスを24時間365日途切れずに提供することが目標とされています。そのためには、医療と介護だけではなく多くのサービス提供者間での連携が必要となってきます。ケアプランや訪問看護計画、訪問介護計画などに記述された内容も、サービス提供の場面の情報として重要です。加えて利用者の変化について把握できれば、状況に応じた適切なサービス提供、特に予防的なアプローチなども可能となり利用者のニーズに応じた地域での介護サービスの提供が可能になっていくと考えられています。

つまり、在宅の介護サービス利用者への包括的かつ継続的な支援を具体化するためには、多くの情報を医療と介護で共有し、活用することが肝要と言えます。

<著者 平野 貴大 雑誌:人間関係学研究:社会学社会心理学人間福祉学:大妻女子大学人間関係学部紀要より>

地域包括ケアの発展には、それぞれの専門家が持つ専門性を活用しつつ、相互の視点を理解した上での連携・情報共有が必要だということです。それには、複数の医療機関や介護事業所が情報共有を行いやすいセキュリティのしっかりした情報基盤が必要だと思います。<シズケア\*かけはしの輪が広がるといいですね>

## 令和3年度在宅医療支援のための研修会(シズケアサポートセンター)

日時: 令和3年11月3日(水曜日・祝日)13:30~15:30 会場: Web + (静岡県医師会館 4階 講堂)

講演:「アドバンス・ケア・プランニング

～患者の意向を尊重した人生の最終段階の医療・ケアのために～」

講師: 神戸大学医学部附属病院 緩和支援診療科 特命教授 木澤義之先生

参加申し込み〆切 10月21日(木曜日) ※詳細はシズケアサポートセンターホームページをご覧ください。

## \* 介護離職しないための支援も \* <家族介護者支援も重要な役割>

対象者が「要介護状態」であること: 要介護認定はなくてもよい 寝たきりや、1人で歩行できないなどで、常時介護が必要な状態

▲介護休業(介護のために取得できる長期休暇)(対象家族1人につき通算93日まで、3回を上限として取得可能)⇒希望する場合、2週間前までに事業主に申請が必要。介護休業給付金(申請が通れば、給付金として給与の2/3(休業開始前の平均賃金の67%がもらえる)の申請ができる。

▲介護休暇(突発的・短期的な介護に)(対象家族1人につき年間5日(2人以上は10日まで取得できます)⇒法改正によりR3.1.1より時間単位で取得可能。事前の申請や手続きがいらない。電話連絡でも取得可能。

### ～仕事と介護の両立のポイント～

①職場に「家族等の介護を行っていること」を伝え、必要に応じて勤務先の「仕事と介護の両立制度」を利用。

②介護保険サービスを利用し、自分で「介護をしすぎない」。

③介護保険の申請は早めに行い、要介護認定前から調整を開始する。

④ケアマネジャーを信頼し、「何でも相談する」。


⑤日頃から「家族や要介護者宅の近所の方々等と良好な関係」を築く。

⑥介護を深刻に捉えずに、「自分の時間を確保」する。

※アドバイスできるといいですね!!

## ＜訪問介護事業所＞

訪問介護(ホームヘルプ)は、利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、訪問介護員(ホームヘルパー)が利用者の自宅を訪問し食事・排泄・入浴などの介護(身体介護)や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援(生活援助)をします。通院などを目的とした乗車・移送・降車の介助サービスを提供する事業所もあります。直接利用者の援助に該当しないサービス(家族のための家事や来客の対応など)日常生活の援助の範囲を超えるサービス(草むしり、ペットの世話、大掃除、窓ガラス磨き、正月の準備など)は受けることはできません。



年中無休  
夜間訪問も

電話 3387  
アルカミーノ

おうちで暮らすサポートセンター

サポートが必要な方、またそのご家族が理想とする生活、笑顔で暮らす、やりたいことをやる、夢を持てる『おうちで暮らす』お手伝いをさせていただきます！  
☎070-6580-3292 介護保険・自費・障害対応

## 湖西市社協介護センターあらい

令和3年4月から拠点を「おぼと」から「新居介護サービスセンター」に移転して活動しています  
『笑顔を届けよう』をモットーに  
いつまでも住み慣れたご自宅で過ごしていただけるよう、自立支援を  
大切に在宅生活を支援しています  
☎053-594-5000



## こさいホームヘルパーステーション

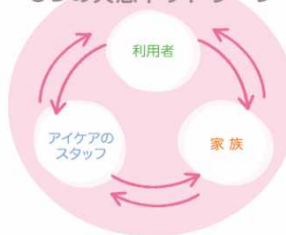
☎053-594-7763

### 介護保険サービス・障害福祉サービス

住み慣れた地域での生活を続けられるよう  
お手伝いします。

## 在宅介護センターアイケア湖西

### 3つの共感ネットワーク



私たちアイケアは、家族だけで抱え込まない介護として「共感介護」をコンセプトに本人、家族、スタッフの3つの共感で、みんなが笑顔になる介護を実現しております。  
☎ 053-574-3300

市内の介護保険事業所(在宅利用サービス)を順次紹介させていただいています。今回は訪問介護事業所です。参考としていただければ幸いです。

また8月発行の「縁」によりで居宅介護支援事業所(市内8事業所を紹介させていただきましたが、**ケアプランがなめく**湖西市鷺津2966 TEL 053-574-2002)様に加わり市内9事業所となりました。宜しくお願いします。

## \*ユマニチュード\*高齢者とりわけ認知症の方との信頼関係を構築するために 認知症高齢者が安心できる接し方 …＜見る、話す、触れる、立つことの援助・4つの基本の柱＞

### ① 見る

人より視野が狭くなるため、まず本人の視野にはいって存在を認識してもらう。同じ目線の高さで、20cm程の近距離で、親しみをこめた視線を送る。

### ② 話しかける

積極的に話しかけ常にポジティブな言葉を加える。ケアするときも実況するように、ゆっくりと声かけします。そうすることで、単なる“作業”ではなく、心の通った“ケア”になります。

### ③ 触れる

ケアをする時、本人の背中や手を優しく包み込むように手のひらを使って触れることで、安心感を与えます。忙しく無言で触れてしまうと逆効果で本人に不信感を与えかねないので、優しく声を掛けながらそっと触れることが必要です。

### ④ 立つく自分の足で立つことで人の尊厳を自覚する

立つことで、筋力の維持向上や骨粗鬆症の防止など、身体機能を保つ効果と、他の人と同じ空間にいることを認識することで、「自分は人間なのだ」という実感にもつながる。

認知症ケアでは信頼関係の構築と誠実な対応がキーワード！！

「あなたが私を人として尊重し、人として話しかけてくれること  
によって、私は人間となるのです。」我がこととしてとらえる視点が必要では！！



連携支援センター「縁」(ゆかり)開設時間 月、火、木、金の9:00~16:00電話: 053-576-4900(直通)FAX: 053-576-1220

◇関係者の皆様で共有したい情報、知りたい情報がありましたら当センターにご連絡下さい。メール: [kourei@city.kosai.lg.jp](mailto:kourei@city.kosai.lg.jp)

編集 連携支援センター「縁」発行 静岡県湖西市役所健康福祉部高齢者福祉課

